

一般社団法人 次代の農と食をつくる会/works

多様なジャンルの「次代の農と食をつくる」意欲あふれる人たちが連携し、 農業生産、食品流通、消費に関わる新たなかたちを創造し、分かち合い、 世に提示し、実現することを目的とした団体です。



- ・流通マッチング
- ・受発注機能
- ・グループ出荷機能
- · 決済/発送支援
- ・登録生産者594件
- ・登録実需者331件 (20年6月時点)



次代の農と食業語る会

農と食の次代をつくるキーパーソンを講師に迎えたトークライブやパーティーを毎月開催。映像配信、アーカイブもおこなう。(現在はオンライン開催のみ)



- · 事務局運営
- 広報
- ・関連イベント開催
- ・フォトコンテスト キャンペーンの運営
- ・ノベルティグッズ作成

その他の実績:農林水産省「オーガニック・エコ農産物安定供給体制構築全国事業」

2016-18年度 生産・実需情報共有・調整システム構築支援事業/消費者・実需者等理解増進活動支援事業 2016年度 新規参入・定着等促進支援事業

2019-20年度 オーガニックビジネス拡大支援事業(オーガニックプロデューサーを全国の「オーガニックビジネス実践拠点づくり事業 | 実施主体の協議会に派遣して、地域のオーガニックの成長と課題解決をサポート)

一般社団法人 次代の農と食をつくる会/member

千葉 康伸 代表理事/ NO-RA 農楽



土佐自然塾、山下農園で2年間研修したのち、神奈川県愛甲郡愛川町でで有機農業を開始。「五感を研ぎ澄まして、畑で自分の感性に焼き付けること」という山下一穂氏からの教えを実践。ニンジン、ニンニク等野菜類を50品目程度栽培し、県内の生活協同組合、東京の契約スーパー、小田原市内や地元等のレストランその他へ販売。

有機農業を子供達の憧れの職業に!と願い、研修生の育成にも注力。 また農場外でも有機農業参入促進協議会副代表、アグリイノベーション大学校専任講師、オーガニック・エコ農と食のネットワーク (NOAF)設立発起人を務めるなど精力的に活動。

2018年6月より「一般社団法人次代の農と食をつくる会」代表理事に就任。オーガニックや有機農業の枠をこえて、次代の持続可能で多様性のある豊かな社会を目指している。

西辻 一真 副代表理事/株式会社マイファーム

種藤 潤 副代表理事/一般社団法人オーガニックヴィレッジジャパン

白十 卓志 理事/株式会社いかす

村山 邦彦 理事/伊賀ベジタブルファーム株式会社

髙橋 勉 監事/JONA(日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会)

間宮俊賢 オフィス



令和2年度 有機農産物安定供給体制構築事業のうち オーガニックビジネス実践拠点づくり事業 実施予定地区

【販路確保型】

- 1 かわにし有機農業推進協議会
- 2 もがみオーガニックビレッジ協議会
- 3 南陽市有機農業推進協議
- 4 千葉県有機農業推進協議会
- 5 さがみサスティナブルコミュニティ
- 6 小田原有機の里づくり協議会
- 7 伊豆南地域有機農業推進協議会
- 8 若狭小浜オーガニック推進協議会
- 9 とやま有機・エコ農業パワーアップ協議会
- 10 知多の恵み
- 11 神戸有機農業者CSA推進協議会
- 13 丹波市有機の里づくり推進協議会
- 14 那賀地方有機農業推進協議会



15 大阪オーガニック・エコ農業推進協議会

3

16 茨木オーガニック農業推進協議会

17 小松島市生物多様性農業推進協議会

- 18 さぬきオーガニック
- 19 高知オーガニック
- 20 くまもと有機農業推進協議会
- 21 宮崎県有機農業連絡協議会
- 22 かごしま有機農業推進協議会

全国12拠点へ 派遣支援または バイヤーマッチング を実施

(2/25現在・予定を含む) (オンラインでの支援を含む)

【供給拡大型】

- 1 自然と共生する里づくり連絡協議会
- 2 株式会社いかす
- 3 名古屋オーガニックアクション協議会
- 4 生活協同組合コープ自然派奈良
- 京都オーガニックアクション協議会
- 株式会社コミュニティファーム
- 7 有限会社かごしま有機生産組合

プロデューサーによる支援事例

かごしま有機農業推進協議会

支援課題:有機農産物の輸出に関するアドバイス

担当プロデューサー: 仲野 真人 (株式会社食農夢創 代表取締役)

さぬきオーガニック協議会

支援課題:大手バイヤーへの、有機農産物の商談方法に関するレクチャー

担当プロデューサー:佐々木 一信(株式会社オイシックス・ラ・大地)

若狭小浜オーガニック推進協議会

支援課題:共同出荷グループづくりと運営方法、中量多品目農場のチームビルディング

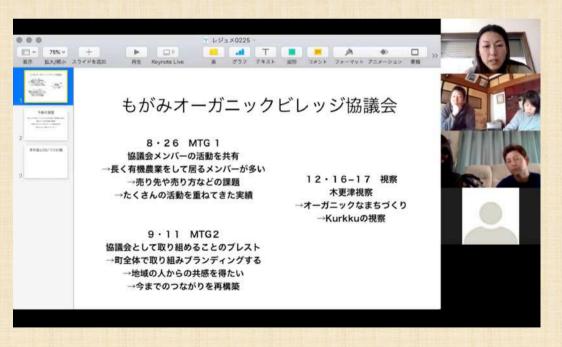
担当プロデューサー:萩原 紀行(のらくら農場)

プロデューサーによる支援事例



新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ZOOM会議を利用したオンラインでの支援を機動的に実施したほか、通常の派遣に加えて、オーガニックプロデューサーのノウハウを学ぶための現地視察も織り交ぜて実施した。





オーガニックプロデューサー動画集の作成

これまでの派遣を通じて見えてきた、ビジネス拠点の抱える共通課題、支援を通じて得られた知見を、本事業の成果報告として動画にまとめ、2021年3月公開を予定。

- ●有機農産物のブランディングと加工品開発、販売戦略
- ・講師:新田美砂子氏(有限会社コートヤード)
- ●有機農産物の地産地消戦略、課題と解決方法
- ·講師:吉岡隆幸氏(合同会社SOZO)
- ●地域内共同物流網の構築と活用 やさいバスの展開事例
- ・講師:加藤百合子氏(株式会社エムスクエアラボ)
- ●オーガニックフェスタのつくりかた地域内消費者への理解増進を通じた販路拡大手法
- ・講師:大和田世人氏ほか(かごしま有機生産組合) 聞き手:千葉康伸

- ●オーガニックビジネス向上・安定へのコツ
- ·講師:木嶋利男氏(伝統農法文化研究所)

聞き手:千葉康伸

